

# 静脈注射認定看護師(IVナース)育成プログラムとワーキングの取り組み



IVナース育成WG

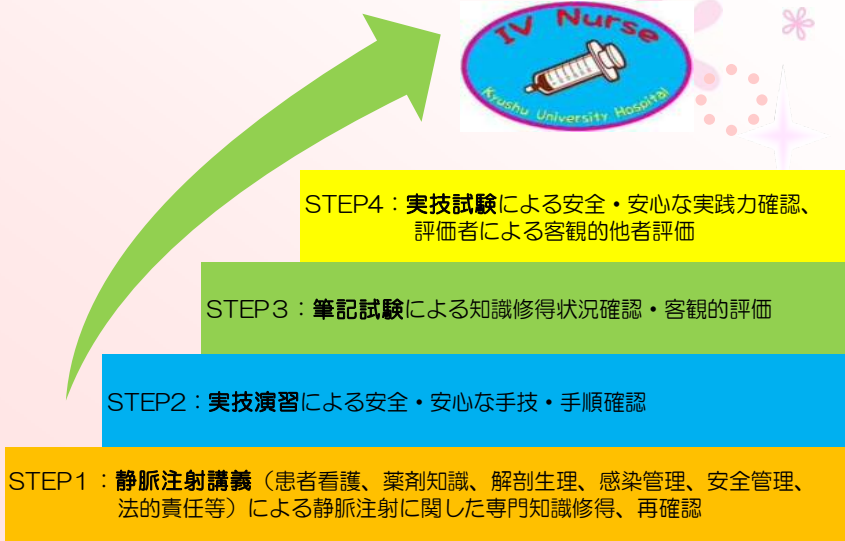
# 静脈注射認定看護師(IVナース)育成WG

- 目的:  
静脈注射認定看護師の育成を継続し、静脈注射に関する看護師の質を担保する
- 役割:  
① 静脈注射認定看護師取得に向けての取り組み  
② 静脈注射認定看護師の育成プログラムの企画・運営・実施・評価および更新制度についての検討

メンバー：13名  
 看護師長 3名  
 副看護師長 3名  
 看護師 7名

# 静脈注射教育プログラム

IVに関する知識と手技の標準化・認定による可視化



# 静脈注射教育プログラムの経過

平成21年度	4STEPの教育プログラム開始(毎年度)	プログラム参加者アンケート評価実施(毎年度)
平成22年度		eラーニング教材開発(視聴型教材、テスト型教材)
平成23年度		eラーニング教材効果測定 《他部門へのプログラム拡大》 ☆医学部研修医の採血演習で指導者役割を担う
平成24年度	☆各部署にIVナース取得推進者を配置 ⇒自部署の育成サポート役 ☆育成対象部署を全部署へ拡大	《地域へのプログラム公開》 ☆STEP1「講義」を公開  《地域へのプログラム公開》 ☆STEP1「講義」、 ☆STEP2「実技演習」を公開
平成25年度		
平成26年度以降	教育プログラム継続・見直し 育成目標値設定 更新制度 実施	地域へのプログラム公開 

## IVナース認定者数の推移



## 令和2年度 IVナース育成WGの年間活動

月日	4月	5月	6月2日	7月	8月	9月1日	10月	11月	12月1日	1月	2月2日	3月
WG			【第1回】 第1回プログラム準備 活動計画立案			【第2回】 更新テスト準備 活動中間評価			【第3回】 更新テスト試行 (オンライン)		【第4回】 第2回プログラム準備 年間活動評価	
静脈注射 教育プログラム	中止 外部受講者募集				運営・実施・評価 認定筆記試験 講義・演習					運営・実施・評価 認定筆記試験 講義・演習		
IVナース 認定更新制度		部署の働きかけ 認定者の確認		更新テスト時期予告 更新対象者の確認①				更新テスト時期予告 更新対象者の確認②	テスト直前通知	テスト終了前通知		認定更新制度評価

※新型コロナウイルス感染対策のため、外部受講者募集は中止。

## 令和3年度 IVナース育成WGの活動状況

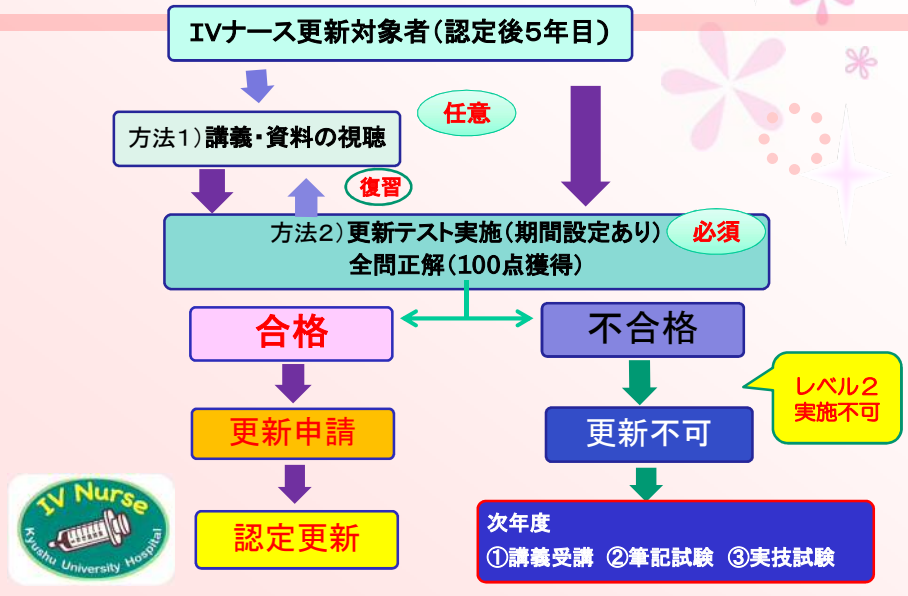
月日	4月	5月	6月1日	7月	8月	9月7日	10月	11月	12月7日	1月	2月9日	3月
WG			【第1回】 第1回プログラム立案準備 活動計画立案			【第2回】 更新テスト準備 活動中間評価			【第3回】 更新テスト試行 (オンライン)		【第4回】 第2回プログラム準備 年間活動評価	
静脈注射 教育プログラム	外部受講者募集		運営・実施・評価 (地域公開) 講義・演習								運営・実施・評価 認定筆記試験 講義・演習	
IVナース 認定更新制度		部署の働きかけ 認定者の確認				更新テスト時期予告 更新対象者の確認①		更新テスト時期予告 更新対象者の確認②	テスト直前通知	テスト終了前通知		認定更新制度評価

※新型コロナウイルス感染対策を実施し、地域公開を再開。

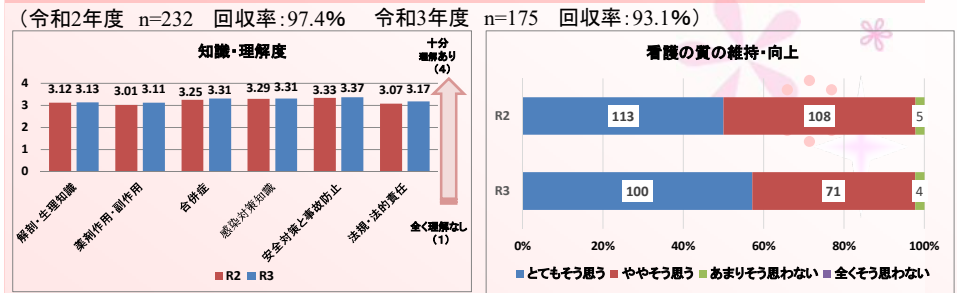
## IVナース更新制度について

- 背景：  
平成21年度から育成を開始したIVナース認定後5年が経過している
- 目的：  
IVナースとして安全な静脈注射実施のために、継続的な質の維持向上をはかる

# IVナース更新制度の流れ



# 令和2・3年度 IVナース認定更新テスト後のアンケート結果



## 感想

- 静脈注射に関連する合併症や解剖、薬剤による注意点など知識や技術の再確認の機会となった
- 認定更新制度は定期的実施の方が知識の復習になり、看護の質の担保につながると思う

# 地域への公開プログラムについて

## 講義公開の目的

- 地域の看護職員が参加することで、静脈注射実施に関する正しい知識を学び、日常看護業務に反映させることで、静脈注射の看護実践力向上に役立てる

## 実技演習公開の目的

- 各施設での指導的役割を担う看護職員を対象に、安全・安心な技術、看護ケアを実技演習を通じて確認してもらう。演習後は、それぞれの学習内容を活用して各施設の研修や教育計画等に役立てる



# 静脈注射教育公開プログラムの結果

年度	公開プログラム	講義	演習
平成24年度	プログラムSTEP1公開「講義」	50施設 188名	
平成25年度	STEP1・2公開「講義」「演習」	5施設 17名	5施設 14名
平成26年度		7施設 13名	7施設 13名
平成27年度		8施設 31名	4施設 17名
平成28年度		16施設 37名	9施設 16名
平成29年度		14施設 31名	15施設 28名
平成30年度		13施設 27名	10施設 18名
令和元年度		18施設 45名	11施設 23名
令和2年度		中止	
令和3年度		13施設 24名	13施設 19名
	参加者累計	144施設 413名	74施設 148名

## 令和3年度 静脈注射教育プログラム研修（6月実施）

令和3年度より、地域公開講座再開

### 講義

- 感染対策を実施
  - ・院内・院外受講者の席を分ける
  - ・院外受講者は、検温、問診票の記載
  - ・座席は1つ開けて使用し、常時換気

参加施設: 13施設      院外受講者: 24名

## 令和3年度 静脈注射教育プログラム研修（6月実施）

### 演習

- 感染対策を実施
  - ・院内・院外受講者の研修時間帯を分けて実施
  - ・院外受講者は検温と問診票の記載
  - ・1G2人、90分で実施
  - ・研修物品の使用後のふきあげ



参加施設数: 13施設      院外受講者: 19名

## 令和3年度 静脈注射認定看護師育成研修（2・3月実施）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、  
研修方法の見直しを急遽施行

### 講義

- ・集合研修は中止  
各部署でWebにて動画講義を視聴

### 演習

- ・2月から3月へ時期を延期  
1部屋の人数を制限し、演習部屋を追加  
指導者の数を減らして対応

### 筆記 試験

- ・受験者に番号を割り当て  
南棟・北棟などで部署をまとめ、受験部屋を分散

## 今後の課題

- 静脈注射認定看護師育成プログラムを継続し、適宜見直しを行いながら、IVナースの育成や更新制度の活用により静脈注射に関する看護の質を担保する
- 急な研修方法の変更に対応できるよう準備をする必要がある
- 感染状況を踏まえた、静脈注射認定看護師育成プログラムの地域施設の参加を継続し、地域全体での看護の質の担保につなげていく